

# 駅前地区総合再生会議が市長へ活動報告！

～地域・民間主導で「住みたいまち藤枝駅前」を推進～

要約すると

- 同会議が昨年度制定した「藤枝駅前地区まちづくり憲章」に基づく具体的な取り組みとして、「防災協力マップ」作成と「防犯協定」の検討を行った
- 各再開発地区や商店街などが、それぞれの「点」としてのまちづくりから、「面」として一体的なまちづくり、エリアマネジメントを地域・民間主導で行う全国初の取り組み

3月10日、駅前地区の再開発組織、駅前商店街、(株)まちづくり藤枝で構成された「藤枝駅前地区総合再生会議」の代表者5人が、市長に今年度の活動内容を報告しました。

同会議では、それぞれの「点」としてのまちづくりから、「面」として一体的なまちづくり、エリアマネジメントを地域・民間主導で行う全国初の取り組み。

昨年度「藤枝駅前地区まちづくり憲章」を制定し、その憲章に基づき具体的な取り組みとして「景観づくり」をテーマに、現在、駅前商店街の13店舗が協力し、日よけをイメージカラーの青色で統一した取り組みを実施。

今年度は、「安全・安心なまちづくり」をテーマに、“防災・防犯”に焦点をあて、現状の把握や様々な課題の洗い出し、具体的な取り組みを検討した結果、「防災協力マップ」の作成と「防犯協定」の検討を行いました。今後、課題解決に向けさらに議論を深め、来年度同マップの配布や「防犯協定」を制定し本格実施する予定です。

同会議からは、このような取り組みを通じて「住みたいまち藤枝駅前」の推進に向け努力し、市の魅力づくり、人口増加に貢献していくと力強い宣言がありました。

